

創意工業

高付加価値部品のトップブランドを目指して

受注状況が好調に推移！
この流れを継続するため、確実に良いモノづくりを実現する。



代表取締役
清水 克洋

上期の振り返り

当社では2020年5月以降、コロナ禍の影響を大きく受け始め、9月度までは対前年比50%を下回る大幅な売上減少が続きました。コロナ禍前はとも好調に推移していましたが、状況が一変したことから、昨期の業績結果としては、低調な実績となりました。

新たな期を迎えても、依然としてコロナ禍の影響は大きく、第1四半期は厳しい実績となりました。しかし、12月頃より徐々に受注状況が向上ぎとなり、2021年1月以降はコロナ以前同等もしくは上回る受注状況となっています。特に、半導体製造装置部品が今期に入ってから好調に推移し、軸受生産用設備部品や工作機械部品の受注も後を追うように、順調に受注できるようになってきました。

一方で航空機部品は、まだまだ先行きが不透明であり、従来の状況に戻るには時間を要すると考えています。そのため、航空機部品の製造に使用していた設備を好

調に推移している分野の部品加工に活用できるよう、加工設備を切り替えるなど、社内の生産体制整備を進めています。

受注状況が好転してきたことで、コロナ禍対策として実行してきた操業短縮を3月1日より解除することができました。現在は、フル稼働で受注品の製作に尽力している状況です。

フル稼働での操業再開と同時に、社内には納期遅れへの対策強化を強く要請しています。リーマンショックの際に受注が回復基調に入ったにも関わらず、受注量が生産体制が追いつかず、大幅な納期遅れを発生させ、お客様にご迷惑を掛けてしまった苦い経験があります。今回、同じ轍を踏まないためにも、各部門が連携しながらお客様に確実に製品を納入できる体制を整備していけるよう全社を挙げて対応していきます。

早い段階の生産体制の整備に関わる対策が、4月以降の当社の業績を大きく左右すると考えています。

下期の展望

昨年末より好調に推移している半導体分野は当分の間、繁忙状況が続くと見込んでいます。お客様からの情報によると、夏場に一旦、受注が落ち込む可能性はありますが、秋以降また忙しくなると聞いています。

工作機械分野に関しては、日本工作機械工業会の受注速報において、2月分の業界全体の単月での受注額が1,000億円を超えたとの公表がありました。工作機械業界において、単月1,000億円という数字が一つのボーダーラインであ

り、業界の活気を表しています。

3月については、決算期を迎える大手メーカーが多数あることから、業界全体として更なる受注の上積みが期待されています。4月以降の計画についても上方修正を検討している工作機械メーカーが多いという情報が入っており、当社の受注量増加にも期待がもてます。

軸受分野に関しても、下期そして来期以降も当社が不二越様に対して貢献させていたただける仕事が多くあると見込んでおり、その期待に応えられるよう、早めのニーズ収集と製作着手など、より多くの受注・納品ができるように精一杯取り組ませていただく所存です。

このように現在の当社の主力3分野軸受・半導体・工作機械)において、4月以降も忙しく仕事ができる環境下にあると考えています。この状況において昨期の実績から少しでも多く回復できるように、お客様に対して良いモノづくりができれば良いと考えています。

創立70周年のご報告

当社は3月で創立70周年を迎えました。コロナ禍のため記念行事等の開催は予定しておりませんが、節目の年だと思っております。

先述の通り、当社は昨年の厳しい状況から回復しつつあります。この良い流れを確実に掴み取り、今期を終える頃には素晴らしい業績結果を残したいと思っております。

今後も新たな石金精機の歴史を作り上げていくために、皆様よろしく願いたします。



タイン社長（下段左から1番目の女性）
ニエン工場長（下段右から1番目の男性）

タイン社長のあいさつ

私は、ベトナム北部の少し寒く
て山が多いエンバイ県出身です。1
999年にベトナムのハノイ貿易
大学に入学し、2004年に卒業
しました。卒業後はOTTO Vi
etnamなどの日系企業で通訳
生産管理、輸出入管理者として勤
めてきました。

2013年に石金精機に入社し、
検査業務、事務、管理業務など、
様々なことを勉強させていただき
ました。2018年の当社設立に
伴い、代表取締役社長に就任しま
した。

『日本品質製品を、ベトナム価格
でお客様にお届けすることを目
標に、今後も社員一丸となり頑張っ
ていきます。』

ニエン工場長のあいさつ

私は、南側の海に近いナンディ
ン県出身です。2004年に大学

を卒業してからYamaha E
lectronics Viet
namでIT管理と品質管理業務
に従事してきました。2011年
に日本の技術を習得するため、石
金精機に入社しました。

石金精機での仕事は、自分の専
門分野とは異なる上、日本語が上
手ではなかったたので、日常生活を
含めて毎日がとても大変でしたが、
上司や先輩に詳しく丁寧に教えて
いただいたお陰で、NC旋盤、マシ
ニングセンタ、研削盤の操作や設
定、プログラミングが出来るよう
になりました。当社設立に伴い、工
場長に就任しました。

IPTの技術力

当社は鍛造金型部品や工作機械
部品などの丸物加工を得意として
います。公差範囲0.001mmの加
工も可能であり、S45C、SCM、
SUS、ハイスなど様々な素材の
加工が可能です。

今後は、得意分野である鍛造金
型部品や工作機械部品の受注を増
加させていきたいと考えています。
その他にも、新たな加工技術の
習得につながる部品加工や、当社
にとつて利益創出につながる仕事
に積極的に取り組んでいきたいと
考えています。

ベトナム情勢について

ベトナムでは1月28日に56日ぶ
りの市中感染が確認され、ベトナ
ム北部のハイズオン省、クアンニ

ン省、ハノイ市内で感染が拡大し
つつあります。ベトナム政府は首都
圏での大人数での集会禁止、国際
線の定期便運航の一時停止などの
対策を講じています。

ベトナム保健省の発表等による
と、ベトナム国内で新型コロナウイルス
感染症の陽性事例と判断され
たのは、2021年3月18日時点
で2,567名、死者数は35名と
なっています。

ベトナムにおいてもコロナ禍の
影響はありますが、IMF発表の
「世界経済見通し」(2020年6月版)
において、今年のベトナム経済の
GDP成長率は、東アジア・太平洋
地域の発展途上国の中でもっとも
高いプラス2.8%になると予測され
るなど、経済成長が続く国である
との見解が公表されています。

依然として、コロナ禍の影響は
世界全体に広がっています。日本
の皆様と仕事をさせていたたく機
会が増えていくように精進してい
きますので、よろしくお願いいた
します。

IPTの保有設備

材料切断機 TB4-262GN	TSUNE
NC旋盤機 TCN-2100L6	TAKISAWA
NC旋盤機 TCN-2600L6	TAKISAWA
マシニングセンター CMX 800 V	DMG MORI
放電加工機 A33M/P3	ASTEC
平面研磨機 52DX	OKAMOTO
外周研磨機 OGM250EXIII	OKAMOTO
ハイトゲージ	TESA
ステライト肉盛設備	MATSUMOTO

営業課による自社PR!

営業レポート

創業以来、当社は「創意工夫」の企業
理念の下、全員で取り組む「ゼロからで
も生み出す」意欲と生産技術力で、お
客様のご要望にこたえる努力を続けてい
ます。お客様の生産性向上に寄与し、信
頼を得て、様々な業種分野において、
「高精度・高難易度」部品の「1個から」
お届けしてきました。当社の3つの特
色をニーズに合わせて活用することで
それを実現しております。

① ワンストップ対応

「削る・磨く・測る」を、豊富な設備群
と、蓄積してきた技術で社内対応。
お客様の発注管理の煩雑な手間を大
きく削減!

② 相互協力ネットワーク対応

ベトナム工場との連携で大量品対応
に加え、社内にはない設備や工法及び特
殊工程にも強固に対応!

③ ワンステージアアップ対応

「転造ヘッド」「設備設計製作」等、高
精度部品に知恵と工夫を加えて、開発
力をサポート!

営業課の役割は、こうした特色を既
存のお客様に向けて更に深く、新規の
お客様に向けて更に深く、お届けし、お
客様のニーズを多く獲得することです。
併せてお客様の様々な「もつと」(Q
CD)をいち早く掴み、全社で改善に
取り組むことで、「お客様の満足度」を
高められるように尽力しています。
取り組み具体例として、次回、「転造
ヘッド」をテーマにご紹介します!

部下×上司

対談企画

佐々木 由衣
SASAKI YUI

2015年に入社。4月で7年目となる。入社以来、製造三課に所属し、平面研磨を担当する。



小林 道明
KOBAYASHI MICHIAKI

2001年入社以来、製造三課に所属し、平面研磨を担当する。佐々木さんの入社時より現在まで指導役を務める。



Q. 相手の方の第一印象は？

小林 身長が低いので機械上部ドレスに届くか心配になりました。

佐々木 背が高く威圧感がありました。怖くて不安だったことを覚えてます。

Q. 実際の人物像は？

小林 仕事の時には、細かな作業や数量が多い仕事であっても、機械の前から動かずに取り組む姿を見て、すごい集中力だと思っています。目の前の作業に集中するだけでなく、特急品が入っても、すぐに最適な作業順序で対応するなど会社にとつて、頼りになる存在だと思います。

佐々木

6年間一緒に過ごして、笑顔が絶えない、話やすく優しい先輩という印象に変わりました。技術面では、温度変化によるワークの熱変位などの影響があるにもかかわらず、大型製品のミクロン単位の交差に対応できる技術力の高さを尊敬しています。

Q. 働く中で感じている事

小林 当社はお客様のご要望に最大限お応えするため、納期に合わせた柔軟な対応が必須です。計画に変更があった際の切り替えが難しく戸惑う人も多いい中、佐々木さんは上手に段取りを組み、難なくこなしてまいります。

佐々木

入社以来、製造三課で仕事をやる中で、自分にとっては、特急品への対応や生産計画の変更への対応は当たり前だと思っていました。その点を褒めていただき、驚いています。どのような時でも小林さんからの的確な指示があり、とても働きやすいということも、対応に困らなかつた理由だと思えます。

Q. 印象的な出来事は？

小林 加工方法の説明を終えて、自身の作業スペースに戻って仕事をしていると、どこからともなく声が聞こえてきたのに、辺りを見渡しても誰もおらず、不思議に思っ、ふと視線を下げると、佐々木さんがいた！ということがよくあります。身長差が33cmもあるので、探すのに一苦労しています(笑)。

佐々木

最近では、声だけでは気付いてもらえないことが分かりました。作業に集中しているときに話しかける場合は、手を挙げるようにしています(笑)。



佐々木

4月からは入社7年目となります。入社以来ずっと製造三課として小林さんと一緒に働いています。毎日加工方法や測定方法を教えてもらい、様々なことで助けてもらっています。助けてもらえることが、当たり前になったこと、ありがたいと感じています。これからお世話になり続けたいと思います。他の人よりも成長は遅いかもかもしれませんが、ご指導よろしく願います。

Q. 今後に向けて

小林 入社してから今まで、とてもよく頑張ってきたと思っています。大学での専攻とは全く異なる分野に挑戦すること、そしてこの業界に溶け込むには、大変な努力が必要だと思っています。これからも、持ち前の一生懸命さを忘れずに仕事に取り組んでもらえたらと思います。



Congratulations!



石金ニュース!

永年勤続表彰

1

印象的な出来事

2

お世話になった方々へのメッセージ



生産管理課
深川さん

①依頼を受けた当日の夕方までに、図面数約150枚分の見積もりを作成したことが印象に残っています。製品自体は、単純な形状が多かったのですが、予算の上限が決まっていたため、加工工数や材料費を最小限に抑えること等、様々な制約があり、そのことが良い意味でのプレッシャーとなり、終えたときの達成感は格別でした。

②今の自分は、今まで出会った方々によって形成されています。特に、お客様から仕事に対する姿勢を学ばせていただきました。失敗からも様々な学びがありました。これまで関わった全ての方に感謝を述べたいと思います。ありがとうございます。



製造三課
茶木さん

①入社以来、マシニングセンター、ワイヤ放電加工機、溶接と様々な経験を経て、現在の研磨工程を担当しています。15年の社歴の中では、リーマンショック時に、当社の売上が落ち込み、出社しても仕事がなく、1日中工場内の清掃をしていた日があった事が印象に残っています。

②様々な加工をする中で、かつて教わった事を基に対応することも多く、当時教えていただいた上司や先輩方に感謝しています。特に品質管理課の若林さんには、複雑な楕円形上の加工に必要なNC旋盤の座標について私単独では算出できず悩んでいた所、計算方法を指導していただき、感謝しています。



製造三課
加藤さん

①4〜5年程前に担当した複雑な形状かつ大口ロット品の仕上加工の対応に苦労したことが印象に残っています。その他にも、移動にクレーンを用いる重量級の製品を扱ったことも当社では珍しいため記憶に残っています。

②入社以来、外周研磨ブロックに所属しています。ミスや失敗をしてしまった時、いつも対処していただいている白川課長、知識や技術について、専門的なことを詳しく教えてくださる高清リーダーに感謝しています。



技術課
中村さん

①印象的な出来事は汎用旋盤を用いたステンレスの加工です。単純な形状ですが、変形しやすいため、交差に因應するのが難しく、三浦課長と一緒に、専用の治具を作る等、試行錯誤し、納期寸前に何とか仕上げた記憶があります。

②旋盤ブロック時代から、様々なことを教えていただき、お世話になった三浦課長に感謝しています。また、長期休暇からの復帰後に温かく迎え入れていただいた金尾部長や能原課長、そして面倒を見てくれた両親にも感謝しています。その他にも、多くの方々のお世話になりました。この感謝の気持ちを、今後は仕事面で返していきたいと思っています。



生産管理課
境野リーダー

①現場や営業課を経て、現在は生産管理課に所属しています。営業課時代に、経験したことがない製品の担当になり、当時の営業課長や製造部からのサポートで、無事納品できた事が印象に残っています。

②機械や加工について教えていただいた先輩方や、様々な相談に乗っていただいた協力会社の皆様にも感謝しています。現在、発注量が減少していますが、今後は回復傾向にあり、また助けていただくと幸いです。これからもよろしくお願いたします。